

2007年6月22日

総合的な学習の時間の充実を求める 「教育再生民間会議」提言

教育再生民間会議メンバー 50音順

小山内 美江子

脚本家、特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会 代表

嶋野 道弘

日本生活科・総合的学習教育学会 会長、
地域に根ざした食農教育ネットワーク 代表委員、文教大学 教授

堀田 力

弁護士、財団法人さわやか福祉財団 理事長

牟田 梯三

俳優、社会福祉法人世田谷ボランティア協会 名誉理事長、
特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター 代表理事

賛同者 50音順

安西 邦夫

東京ガス株式会社 相談役

磯邊 律男

株式会社博報堂 相談役

大石 芳野

写真家

大竹 美喜

アメリカン・ファミリー生命保険会社 創業者・最高顧問

鬼武 健二

社団法人日本プロサッカーリーグ チェアマン

川淵 三郎

財団法人日本サッカー協会 キャプテン

北城 恪太郎

日本アイ・ピー・エム株式会社 最高顧問

笹川 陽平

日本財団 会長

白井 哲三郎

伊藤忠商事株式会社 顧問

鈴木 昌

Jリーグ名誉会員

寺脇 研

独立行政法人京都造形芸術大学教授（元文部科学省 大臣官房審議官）

中村 桂子

JT生命誌研究館 館長

長尾 立子

社会福祉法人全国社会福祉協議会 名誉会長

野村 彰男

早稲田大学 客員教授（前国際連合広報センター 所長）

羽田 澄子

映画監督

樋口 恵子

NPO法人高齢社会をよくする女性の会 理事長

堀内 光一郎

富士急行株式会社 代表取締役社長

宮田 勇

全国農業協同組合中央会 会長

わが国は、西欧諸国に追いつき、追い越すことを目標とする段階を脱し、世界をリードする先進国の一つとして、人々の多様な価値観を満たす**高度な文化国家**を自ら創造すべき段階に入っております。

日本が、グローバルに求められるそのような任務を果たし、世界の発展に寄与しつつ、自らの繁栄を確保するためには、従来のように知識レベルが高く、理解力に優れた人材では足りず、次のような能力を備えた**創造力のある人材**を育成することが必要です。

- 1 . 生きることが楽しく、活気にあふれ、難しい課題に出会ってもこれに前向きに取り組む、**自助の意欲と行動力**にあふれた人
- 2 . 自分で目標を立てることができる人
- 3 . 目の前の状況を自分の眼で把握し、前進するために何が問題かを把握できる人
- 4 . 人を大切にし、その気持ちを理解し、人と協調し、助け合う**共助の意欲**にあふれた人

これらの能力は、人として充実した人生を社会の中で実現するために、すべての人に求められる**人間力**です。どんな人も、自らの人間力を高め、発揮して、それぞれの人生を拓いていくのです。そして、人が人間力を高めるのに比例して、その社会は活気に満ち、国は文化度を高めます。

日本の輝く未来を創造するために、教育に求められるもっとも基礎的なことは、すべての児童、生徒たちの人間力を高めることです。

そして、人間力をもっとも効果的、直接的に育成することのできるカリキュラムが、**総合的な学習の時間**です。

なぜならそれは、児童、生徒たちが、自ら目標を設定し、協力し合ってこれを達成する過程で、それぞれが意欲的に自分の役割を果たすことの意義を体感し、それぞれがその知識を生かすことによりその知性、理性を高め、また、仲間や社会人とのコミュニケーションを深める感性を自然に身に付けるカリキュラムだからです。

このたび、カリキュラムの再編に関する論議の中で、この重要な総合的な学習の時間を縮小しようとする動きが出ていることを、私たちは深く憂慮しています。それは、日本の発展を阻害する行為だからです。

総合的な学習の時間を充実すること、そして、これをあるべき姿にリードできるように教員の能力を高めることこそ、今わが国の教育が取り組むべき最重要課題であろうと考えます。

日本の教育のあり方を決める有識者の方々の、先見性に満ちたご判断を求めてやみません。